

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	加藤 幹郎	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9834		事務事業名称	計画及び認可等策定事業						短縮コード	経常	9834	臨時	
予算区分	会計	62	公共下水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	01	公共下水道施設拡張費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
公共下水道区域の雨水・排水を効率的に処理するための計画を行う。また、汚水管渠の耐用年数の延伸に寄与する為の計画を行う。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）		05	第5章快適生活都市をめざして						
今後も地域の実情等を踏まえ、汚水管渠・雨水管渠の基本設計及び浸水対策、老朽化した汚水管渠の長寿命化計画の策定を図っていく。					大項目（節）		04	第4節下水道						
					中 項 目		01	1. 下水道						
					小 項 目		02	(2)汚水排水の整備						
							03	(3)雨水排水の整備						
					細 項 目		01	①汚水施設の整備拡充						
							02	②流出抑制策の推進						
				実施計画の計画事業		5084	汚水管渠整備事業							
						5087	雨水管渠整備事業							
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	公共下水道全体計画区域							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 八千代市公共下水道長寿命化計画及び計画に伴う管路調査 浸水対策計画策定							
	※平成24年度に計画していること： 汚水及び雨水の各処理分区、排水区基本設計							
意図 （何を狙っているのか）	雨水・汚水を計画的に処理する。 汚水管渠の長寿命化を図る。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	公共下水道全体計画面積（汚水）	h a	2, 780	2, 860. 5	2, 860. 5	2, 860. 5	
	指標 2	公共下水道全体計画面積（雨水）	h a	2, 780	2, 780	2, 780	2, 780	
	指標 3							
活動指標	指標 1	公共下水道全体計画面積（汚水）	h a	2, 780	2, 860. 5	2, 860. 5	2, 860. 5	
	指標 2	公共下水道全体計画面積（雨水）	h a	2, 780	2, 780	2, 780	2, 780	
	指標 3							
成果指標	指標 1	公共下水道全体計画面積（汚水）	h a	2, 780	2, 860. 5	2, 860. 5	2, 860. 5	
	指標 2	公共下水道全体計画面積（雨水）	h a	2, 780	2, 780	2, 780	2, 780	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		9834	事務事業名称	計画及び認可等策定事業			所属名	建設課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円			3,490		
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	17,378	12,663	14,119	35,669	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			委託料17,378千円	委託料12,663千円	委託料17,609千円	委託料35,669千円	
人件費 (B)			千円	27,356.6	26,697.4	21,713.3	21,713.3	
トータルコスト (A) + (B)			千円	44,734.6	39,360.4	39,322.3	57,382.3	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	公共下水道全体計画において污水管渠計画及び浸水対策を図ることで、上位の施策と結びついている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	本事業で計画策定した事業は、整備事業へ移行して実施していく。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	下水道法により、事業の計画・実施は市が行うものと義務付けられている。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で計画策定を行う。					
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある	地域の実情等を踏まえ、計画策定を行っているため、可能性はない。					
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
			2			実施主体 (所管部署)			
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	9834	事務事業名称	計画及び認可等策定事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			現状の方法・手法により、本事業を実施していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			計画及び認可等策定事業のため、成果、コストともに不変。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
無し。	

所属長コメント	公共下水道計画及び認可策定事業は、下水道整備計画の骨子であることから、今後も地域の実情等を踏まえ、調査の基に計画策定を行っていく。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		